



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日  
東

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所  
 コード番号 5970 URL <http://www.g-tekt.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 俊嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉沢 勲 (TEL) 048-646-3400  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	139,977	6.4	6,949	△29.7	6,848	△31.5	4,222	△31.5
26年3月期第3四半期	131,614	13.6	9,881	1.5	9,991	3.0	6,162	△2.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 10,073百万円(△36.0%) 26年3月期第3四半期 15,745百万円(108.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	96.22	—
26年3月期第3四半期	280.83	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	215,706	109,710	45.8
26年3月期	194,495	100,599	46.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 98,829百万円 26年3月期 91,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00
27年3月期	—	11.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	13.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年度3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 2円00銭

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,000	4.1	9,600	△32.0	8,500	△38.6	5,300	△33.9	120.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	43,931,260株	26年3月期	43,931,260株
27年3月期3Q	44,616株	26年3月期	44,468株
27年3月期3Q	43,886,757株	26年3月期3Q	43,887,078株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」、及び「期中平均株式数(四半期累計)」を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 経営成績に関する説明 .....	2
	(2) 財政状態に関する説明 .....	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示 .....	4
3.	四半期連結財務諸表 .....	5
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
	(継続企業の前提に関する注記) .....	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
	(セグメント情報等) .....	9
	(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内の経済情勢は、消費増税前の駆け込み需要の反動減、新興国景気の減速や円安効果の一巡などから、緩慢な景気回復となりました。海外においては、欧州経済の低迷や中国などの新興国経済の景気減速、地政学的リスク等がありますが、量的緩和の終了を控えた米国の景気回復に主導され、概ね堅調に推移しました。

自動車業界につきましては、国内は、消費増税前の駆け込み需要の受注残対応がありましたが、夏以降、減産傾向となりました。海外は全体として堅調を維持しています。また、グローバルでの新機種ラッシュに伴い、金型設備の調達環境の変化が続いています。

このような経営環境の中、当社グループでは、自動車の需要拡大を見越したグローバルベースの能力拡大に目処をつけ、また、開発・提案力を更に強化し、よりタイムリーかつフレキシブルに世界各地のお客様の多様なニーズに対応できる物造り体質の実現に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績については、為替換算の影響もあり、売上高は139,977百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。利益につきましては、労務費及び減価償却費等の増加により、営業利益は6,949百万円（前年同四半期比29.7%減）、経常利益は6,848百万円（前年同四半期比31.5%減）、四半期純利益は4,222百万円（前年同四半期比31.5%減）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

売上高は、主要得意先の新機種立ち上げラッシュに伴う型設備売上の増加などにより、39,655百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、金型の需要増による金型調達コストの高騰や、新機種立ち上げ対応や開発機能強化のための労務費・試験研究費の増加に加え、予定されていた新機種量産開始の遅れなどにより、1,219百万円（前年同四半期比44.3%減）となりました。

#### ②北米

売上高は、型設備売上の増加や為替換算の影響などにより、48,832百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、型設備売上の増加やコスト削減効果などにより、2,000百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。

#### ③欧州

売上高は、型設備売上の増加や為替換算の影響などにより、7,640百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、型設備売上の増加などにより、810百万円（前年同四半期比77.2%増）となりました。

#### ④アジア

売上高は、インドネシアのG-TIM社本格稼働やインドでの増産などがあったものの、タイでの大幅減産の影響が残り、22,035百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、一定のコスト削減効果があったものの、タイでの減産の影響などにより、1,286百万円（前年同四半期比60.4%減）となりました。

#### ⑤中国

売上高は、上期における増産効果があったものの、第3四半期における得意先の大幅減産に伴う生産調整などにより、22,793百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、型設備売上の減少や労務費及び減価償却費の増加などにより、1,142百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

#### ⑥南米

売上高は、型設備売上の増加により、9,324百万円（前年同四半期比86.7%増）、セグメント利益（営業利益）は、労務費の増加があったものの、型設備売上の増加などにより、540百万円（前年同四半期比41.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期末における資産合計は、前連結会計年度末より21,211百万円増加し、215,706百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より12,100百万円増加し、105,996百万円となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より、9,110百万円増加し、109,710百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年度3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年10月28日発表の予想数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が82百万円減少し、利益剰余金が53百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ13百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,733	10,476
受取手形及び売掛金	26,990	27,173
製品	735	903
仕掛品	16,328	20,414
原材料	2,294	2,244
貯蔵品	716	743
その他	4,451	7,395
流動資産合計	68,249	69,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,031	44,245
機械装置及び運搬具(純額)	28,373	33,785
工具、器具及び備品(純額)	16,154	22,647
土地	10,470	11,380
建設仮勘定	22,082	20,741
有形固定資産合計	113,111	132,800
無形固定資産	1,900	1,991
投資その他の資産		
投資有価証券	8,368	8,630
その他	2,864	2,931
投資その他の資産合計	11,232	11,561
固定資産合計	126,245	146,353
資産合計	194,495	215,706
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,267	17,628
短期借入金	15,805	28,933
1年内返済予定の長期借入金	10,765	10,831
未払金	7,772	6,257
未払法人税等	1,422	325
賞与引当金	905	1,100
その他	8,457	6,708
流動負債合計	63,395	71,785
固定負債		
長期借入金	23,714	25,905
退職給付に係る負債	1,447	1,297
その他	5,338	7,008
固定負債合計	30,500	34,211
負債合計	93,895	105,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	50,057	53,512
自己株式	△21	△21
株主資本合計	78,350	81,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,831	2,192
繰延ヘッジ損益	△21	△74
為替換算調整勘定	11,053	14,956
退職給付に係る調整累計額	△78	△50
その他の包括利益累計額合計	12,785	17,024
少数株主持分	9,463	10,880
純資産合計	100,599	109,710
負債純資産合計	194,495	215,706



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	131,614	139,977
売上原価	113,811	124,777
売上総利益	17,802	15,199
販売費及び一般管理費	7,920	8,249
営業利益	9,881	6,949
営業外収益		
受取利息	187	230
受取配当金	83	106
為替差益	341	327
その他	233	336
営業外収益合計	846	1,001
営業外費用		
支払利息	581	671
持分法による投資損失	129	399
その他	25	31
営業外費用合計	736	1,102
経常利益	9,991	6,848
特別利益		
固定資産売却益	60	23
特別利益合計	60	23
特別損失		
固定資産売却損	17	8
特別損失合計	17	8
税金等調整前四半期純利益	10,034	6,863
法人税等	2,781	2,057
少数株主損益調整前四半期純利益	7,252	4,805
少数株主利益	1,089	582
四半期純利益	6,162	4,222

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,252	4,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	896	361
繰延ヘッジ損益	△62	△53
為替換算調整勘定	7,514	4,938
退職給付に係る調整額	-	28
持分法適用会社に対する持分相当額	145	△6
その他の包括利益合計	8,492	5,267
四半期包括利益	15,745	10,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,866	8,442
少数株主に係る四半期包括利益	1,879	1,631

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	28,902	45,694	6,143	24,694	21,184	4,994	131,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,248	9	2	89	1,093	—	7,443
計	35,151	45,704	6,145	24,783	22,278	4,994	139,057
セグメント利益	2,187	1,609	457	3,246	1,959	383	9,844

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,844
セグメント間取引消去等	95
のれんの償却額	△58
四半期連結損益計算書の営業利益	9,881

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、子会社としてアメリカ・オハイオ州にG-TEKT North America Corporationを設立し、新たに「北米」セグメントに加えております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	30,275	48,188	7,635	21,951	22,604	9,322	139,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,380	644	4	84	188	2	10,304
計	39,655	48,832	7,640	22,035	22,793	9,324	150,281
セグメント利益	1,219	2,000	810	1,286	1,142	540	6,999

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,999
セグメント間取引消去等	12
のれんの償却額	△62
四半期連結損益計算書の営業利益	6,949

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

会計方針の変更等に記載のとおり、当社における退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しております。

この結果、従来の方法に比較して、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で13百万円増加しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。